

スマートメーターの設置について（お知らせ）

平素は、弊社電力事業に関し格別のご高配を賜り厚くお礼申し上げます。

平成27年7月から、弊社管内全地域において導入を開始しているスマートメーターにつきまして、下記のとおりお知らせいたします。

記

1 スマートメーターの種類

スマートメーター（以下、SMという。）の「相線、電圧、容量」および「通信方式等」は以下のとおりです。

(1) 相線、電圧、容量

SMの相線、電圧、容量は、下表のとおりです。詳細は、別紙1をご参照ください。

相線	電圧	容量
単相2線式	100V, 200V	30A
		60A ^{※1}
		120A
		250A ^{※2}
		5A
単相3線式	100V	60A
		120A ^{※3}
		250A ^{※2}
		5A
三相3線式	200V	60A
		120A ^{※3}
		250A ^{※2}
		5A

※1 タイムスイッチ機能付き計器のみとなります。

※2 単相2線式計器全数および単相、三相3線式計器のタイムスイッチ機能付き計器については、従来計器での対応となります。

※3 新設工事においては、「押しネジ式」を使用します。その他、増減設・種変等においては、ご要望に応じ「圧着式」を使用します。

(2) 通信方式等

SMの通信方式および選定基準は、下表のとおりです。なお、SM毎の通信方式は、選定基準に基づき弊社にて選定させていただきます。

ア 「SM」～「弊社システム」間（Aルート）の通信方式

通信方式	選定基準
マルチホップ方式 ^{※4}	1 km×1 km内にメーターが100台以上のエリア
1:N方式 ^{※5}	マルチホップ方式のエリア以外で1:N方式のサービスエリア
PLC方式 ^{※6}	地上高60m以上の超高層マンション

※4 他のSMを経由してデータを伝送する方式。無線媒体には、920メガヘルツ帯の低出力の無線を使用する。

※5 携帯電話等の一般公衆携帯網を利用してデータを伝送する方式。

※6 電力線を利用してデータを伝送する方式。

イ 「SM」～「エネルギー管理を行う宅内機器」間（Bルート）の通信方式

通信方式	選定基準
920方式 ^{※7}	下記以外の場合
PLC方式 ^{※6}	次のいずれかに該当する場合 <ul style="list-style-type: none"> ・集合住宅等において、各戸の計量器が集合して施設されている場合 ・「SM」～「弊社システム」間の通信方式がPLC方式の場合

※7 920メガヘルツ帯の低出力の無線を使いデータを伝送する方式。

2 配線方法の変更

SMの「負荷制限機能」「双方向計量機能」「タイムスイッチ機能」により、配線方法等が以下のとおり変更となります。詳細は、別紙2をご参照ください。

(1) サービスブレーカの廃止

SMの負荷制限機能により、契約容量の決定を行います。このため、サービスブレーカが不要となります。

ただし、配線方式B方式、E方式を適用する場合はサービスブレーカの使用が可能です。

(2) 購入用計器の廃止

SMの双方向計量機能により、1台のSMで供給・購入双方の計量を行います。このため、購入用計器が不要となります。

(3) タイムスイッチの廃止

タイムスイッチ機能付SMの導入により、1台のSMで供給遮断を行います。このため、タイムスイッチが不要となります。

3 工事方法

SMによる工事方法等の主な変更点は、下表のとおりです。その他、SMの外観寸法や設置位置等は従来と同様となりますので内線規程の付録等をご参照ください。

変更項目	変更点
外観寸法	・SMの寸法は、従来計器と一部異なります。これに伴い化粧フードカバー等とSM（端子部）が干渉し設置できない場合があるため、工事前に設置可否の確認をお願いします。
作業手順	・検満取替時の作業性を考慮し、SM上部に一定スペースの確保をお願いします。 ・工事後、通信装置のLED表示状態の確認をお願いします。また、LED表示状態によっては、弊社へ連絡をお願いします。

4 添付書類

別紙1 スマートメーターのラインアップについて

別紙2 スマートメーターの配線方法について

以 上